LiveCycle ES2 PDF Generator Tutorial

Adobe® LiveCycle® ES2

バージョン 9.0

2010 年 2 月

© 2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® LiveCycle® ES2（バージョン 9.0）LiveCycle ES2 PDF Generator チュートリアル

第 1.0 版、2010 年 2 月

This user document is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the user guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the user guide; and (2) any reuse or distribution of the user guide contains a notice that use of the user guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link.. To view a copy of this license, visit http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/.

Adobe, Adobe logo, Acrobat, Flash, LiveCycle, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. JavaScript is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the United States and other countries. Microsoft and Windows are either trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

目次

1. このドキュメントの内容

このドキュメントの対象読者 4

関連情報 4

2. PDF Generator ES2 の概要

アーキテクチャ 5

PDF Generator ES2 ワークフロー 6

変換するファイルの配置 7

サポートされるファイル形式 7

- Postscript および EPS ファイル形式を PDF に変換 7
- ネイティブファイル形式を PDF に変換 7
- PDF を他のファイル形式に変換 8
- オープンスタンダードの出力ファイル形式 8

3. PDF Generator ES2 の利用手順

基本操作 9

手順 1：Adobe PDF プリンタをデフォルトのプリンタとして設定 9

手順 2：環境変数の設定 9

手順 3：監視フォルダの作成 12

手順 4：Generate PDF サービスの設定 13

手順 5：監視フォルダへのファイルのコピー 16

手順 6：PDF ドキュメントの表示 16

4. PDF Generator ES2 のトラブルシューティング

- ログファイルの読み取り 17
- MS Word や他のネイティブなアプリケーションファイルを変換できない場合 17
- 監視フォルダに対する削除のアクセス権の付与 17
- ディスクの空き容量に関するエラーの回避 17
- トラブルシューティングの関連情報 17

1. このドキュメントの内容

このドキュメントでは、PDF Generator ES2 が LiveCycle ES2 とやりとりする方法について説明します。次の操作を実行する方法を学ぶための、20 分間のチュートリアルも含まれています。

- ネイティブアプリケーションサポートのための環境パスの設定。
- ローカルハードドライブおよび共有ネットワークドライブ上の監視フォルダの設定。
- 監視フォルダへのドキュメントのコピーおよび出力ファイルの表示。

この文書の目的は、ユーザーが PDF Generator ES2 の使用をすぐに開始できるようにすることです。

このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、LiveCycle ES2 向けの PDF Generator ES2 をスタンドアロンサービスとして設定したい人を対象にしています。Distiller サービスについて十分に理解することをお勧めします。

開始する前に、（LiveCycle Workbench ES2 を使用せず）自動オプションを使用して、Windows 2003 Server または Windows XP で PDF Generator ES2 を設定してください。

関連情報

次の表に、PDF Generator ES2 についての詳細情報の参照先を示します。

情報	参照先
LiveCycle PDF Generator ES2 の概要	LiveCycle ES2 の概要
PDF Generator ES2 のインストールおよび設定	LiveCycle ES の自動インストールおよびデプロイ
PDF Generator ES2 の電子メールエンドポイントおよび監視フォルダエンドポイントの設定に関する詳細情報	LiveCycle ES2 管理ヘルプ
Generate PDF サービスに操作を追加するための LiveCycle Workbench ES の使用方法	LiveCycle Workbench ES2 ヘルプ
LiveCycle ES2 の用語	LiveCycle ES2 用語集
LiveCycle ES2 に統合できる他のサービスや製品	www.adobe.com/jp
現在のバージョンに関するパッチアップデート、テクニカルノート、および追加情報	LiveCycle テクニカルサポート

2. PDF Generator ES2 の概要

LiveCycle PDF Generator ES2 では、PDF ドキュメントの作成、アセンブリ、配布、アーカイブを自動的に実行できます。PDF Generator ES2 を使用すると、広範囲のネイティブファイル形式および標準ファイル形式を PDF ポートフォリオに変換できます（「サポートされるファイル形式」（7 ページ）を参照）。また、PDF Generator ES2 では PDF ファイルのサーバーベースでのダイレクト印刷をサポートしています。

PDF Generator ES2 を使用すると、複数のソースドキュメントを 1 つの PDF ドキュメントにアセンブリしたり、PDF ドキュメントをページ単位で分割したりすることができます。

アーキテクチャ

PDF Generator ES2 はスタンドアロンのソリューションコンポーネントとしてインストールできます。複数の LiveCycle ES2 サービスが、PDF Generator ES2 と共にインストールされます。これらのサービスにより、PDF Generator ES2 でサポートされるファイル形式の範囲を柔軟に広げることができます。また、ほぼすべてのタイプのドキュメントを PDF に変換するサポートを追加できます。

- **Assembler サービス** Assembler サービスは、複数の PDF ドキュメントを 1 つの PDF ドキュメントに統合したり、1 つの PDF ドキュメントを複数の PDF ドキュメントに分割したりします。Assembler サービスでは、ページサイズの変更やコンテンツの回転など、様々な方法でドキュメントを処理できます。ヘッダ、フッタ、目次などの追加のコンテンツを挿入できます。また、注釈、添付ファイル、しおりなどの既存のコンテンツの保持、読み込みまたは書き出しを行うこともできます。他の LiveCycle ES2 サービスを開始して、ファイルを PDF に変換し、Adobe XML フォームをフォームデータにマージし、Adobe Reader 使用権限を適用することもできます。
- **Convert PDF サービス** Convert PDF サービスは、PDF ドキュメントを PostScript® や画像ファイル（JPEG、JPEG 2000、PNG および TIFF）に変換します。PDF ドキュメントの PostScript への変換は、PostScript プリンタでの無人のサーバーベース印刷に便利です。PDF ドキュメントをサポートしていないコンテンツ管理システムでドキュメントをアーカイブする場合、PDF ドキュメントをマルチページ TIFF ファイルに変換する方法が実用的です。
- **Distiller サービス** Distiller サービスは、PostScript、Encapsulated PostScript（EPS）およびプリンタテキストファイル（PRN）を PDF ファイルに変換します。Distiller サービスは、請求書や明細書など、容量の大きい印刷ドキュメントを電子ドキュメントに変換する際によく使用されます。ドキュメントを PDF に変換して、顧客にドキュメントの印刷バージョンと電子バージョンを送付できます。
- **DocConverter サービス** DocConverter サービスは、署名済みまたは未署名の PDF ドキュメント、XML フォーム（通常は LiveCycle Designer ES2 で作成したもの）および Acrobat フォームを、PDF/A 準拠のドキュメントに変換します。PDF/A は、主にアーカイブに使用される形式です。このサービスを使用することで、PDF ドキュメントが PDF/A 形式に準拠しているかどうかを検証することもできます。
- **Encryption サービス** Encryption サービスは、ドキュメントを暗号化および復号化します。ドキュメントを暗号化すると、その内容は判読できなくなります。PDF ドキュメント全体（コンテンツ、メタデータおよび添付ファイル）を暗号化するか、そのメタデータ以外のすべてのデータを暗号化するか、または添付ファイルだけを暗号化することができます。許可されたユーザーはドキュメントを復号化して、コンテンツにアクセスできます。PDF ドキュメントがパスワードで暗号化された場合、ユーザーが Adobe Reader または Acrobat でドキュメントを表示するには、ドキュメントを開くためのパスワードを指定する必要があります。同じように、PDF ドキュメントが証明書で暗号化されている場合も、ユーザーが PDF ドキュメントを復号化するには、その PDF ドキュメントの暗号化に使用された秘密鍵に対応した公開鍵（証明書）が必要です。
- **Generate PDF サービス** Generate PDF サービスは、様々なファイルタイプを PDF ドキュメントに変換します。PDF ドキュメントを他のドキュメント形式に変換することもできます。
- **PDF Utilities サービス** PDF Utilities サービスは、PDF ファイル形式と XDP ファイル形式間の変換、PDF ドキュメントの保存モードの設定と取得、および PDF ドキュメント情報のクエリーを実行します。例えば、このサービスを使用して PDF ドキュメントに注釈や添付ファイルが含まれているかどうかを確認できます。
- **XMP Utilities サービス** XMP Utilities サービスは、PDF ドキュメントから XMP メタデータを取得および保存し、XMP メタデータを PDF ドキュメントに読み込むことができます。Adobe Extensible Metadata Platform（XMP）は、ドキュメントのメタデータを処理するための標準です。メタデータは、ドキュメントに関する情報です（テキストやグラフィックなどのドキュメントのコンテンツとは区別されます）。

PDF Generator ES2 ワークフロー

次の手順で PDF Generator ES2 の使用法を説明します。

1 管理者は LiveCycle 管理コンソールを使用して、PDF Generator ES2 でどのようにドキュメントを変換するかを制御するデフォルトの PDF 設定、セキュリティ設定およびファイルタイプ設定をカスタマイズします。

2 管理者は PDF Generator ES2 を設定し、ファイルを変換するサービスを呼び出します。

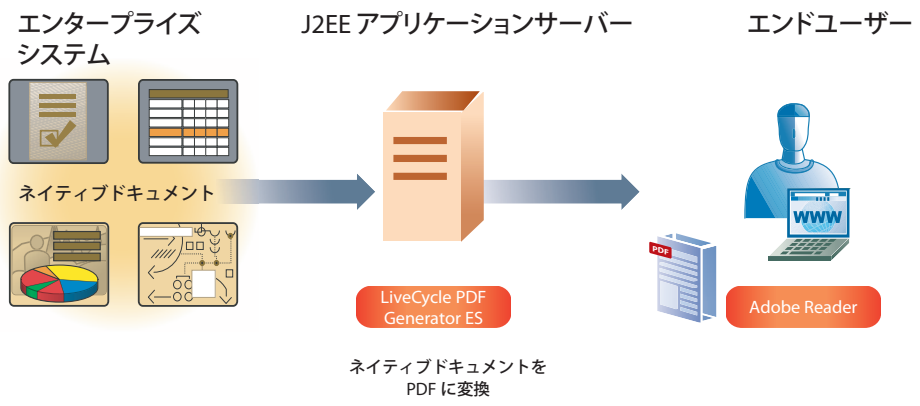
   様々な方法でサービスを呼び出すことができます。このチュートリアルの「PDF Generator ES2 の利用手順」（9 ページ）では、監視フォルダを設定します。PDF Generator ES2 は定期的にその監視フォルダをスキャンします。ファイルを見つけると、Generate PDF サービスを開始します。このサービスによってファイルが変換されます。

3 ユーザーまたはクライアントアプリケーションが、監視フォルダ内に PDF に変換するファイルを配置します。

   このチュートリアルの「PDF Generator ES2 の利用手順」（9 ページ）では、ユーザーがファイルを監視フォルダにコピーします。サービスの API を使用して、監視フォルダにファイルを配置するクライアントアプリケーションを作成することもできます。

4 PDF Generator ES2 が、管理者が指定した間隔で監視フォルダをスキャンして変換するファイルを探します。

5 PDF Generator ES2 は、管理者が LiveCycle 管理コンソールで指定したデフォルトの設定を使用して、ネイティブファイルを PDF に変換します。その後、PDF Generator ES2 が結果の PDF ドキュメントを Out フォルダに移動します。



変換するファイルの配置

様々な方法で、ファイルを変換するサービスを呼び出すために PDF Generator ES2 を設定できます。ファイルを変換するための、プログラムを使用しない配置方法は次の通りです。

- **監視フォルダ** 監視フォルダと呼ばれるフォルダを定期的にスキャンするように、LiveCycle ES2 を設定できます。LiveCycle ES2 によって、監視フォルダのいずれかの入力フォルダ内でファイルが検出されると、そのファイルは設定に従って変換されます。その後、LiveCycle ES2 が結果ドキュメントを結果フォルダに移動します。監視フォルダには独自の PDF 設定、セキュリティ設定およびファイルタイプ設定を実行でき、これらの設定は、そのフォルダから処理されるすべてのファイルに適用されます。このドキュメントで後述するチュートリアルでは、監視フォルダソースを使用します。
- **電子メール** 変換されるドキュメントを（電子メールの添付ファイルとして）ユーザーが送信するための電子メールアカウントを設定できます。電子メールのインボックスは、LiveCycle ES2 によって監視される添付ファイルの収集ポイントとして機能します。LiveCycle ES2 は、（アプリケーションおよびサービスで設定された）電子メールエンドポイントで定義された適切なサービスを開始します。変換の結果は、エンドポイントで定義されたユーザーに転送されます。変換の種類に応じて、個別のアカウントを設定できます。例えば、送信される添付ファイルから標準の PDF ドキュメントを生成するためのアカウントを設定できます。さらに、保護された PDF ドキュメントを生成するために、別のアカウントを設定できます。各ソースには独自の電子メールアカウントが必要です。すべての電子メールエンドポイントは、電子メールインボックス向けの認証されたユーザー名とパスワードを使用して設定されます。このユーザー名とパスワードはサービスを呼び出すときに必要になります。メールサーバーシステムが電子メールアカウントを保護しています。
- **Assembler タスク**
- **Internet Printing Protocol（IPP）**LiveCycle ES2 には、Generate PDF サービスに対して印刷を行うプリントドライバも用意されています。このプリントドライバは、デスクトップ上の他のプリントドライバと同じようにインストールされます。ユーザーはデスクトップのあらゆるアプリケーションから、PDF Generator ES2 による PDF 生成の集中管理機能を利用できます。プリントドライバのインストールについて詳しくは、『LiveCycle ES2 のインストールおよびデプロイ』ガイドを参照してください。この機能の設定について詳しくは、LiveCycle ES2 管理ヘルプを参照してください。

サポートされるファイル形式

PDF Generator ES2 では、PostScript および Encapsulated PostScript（EPS）のドキュメントを PDF 形式に、ネイティブファイル形式を PDF 形式に、PDF ドキュメントを他の形式にそれぞれ変換することができます。

Postscript および EPS ファイル形式を PDF に変換

PDF Generator ES2 を使用すると、ワークグループのネットワーク上で、PostScript ファイルをコンパクトで、信頼性のある、より安全な PDF ファイルに変換できます。PostScript から PDF への変換は、大量の印刷ドキュメントを、請求書や明細書などの電子ドキュメントに変換したり、ビジネスインテリジェンスレポートなどのオンラインレポートに変換したりするためによく使用されます。また、ドキュメントを PDF に変換して、顧客にドキュメントの印刷バージョンと電子バージョンを送付できます。

ネイティブファイル形式を PDF に変換

PDF Generator ES2 では、様々なネイティブファイル形式を PDF に変換できます。次のファイル形式がサポートされます。

- Microsoft Office 2003、2007（DOC、XLS、PPT、WPD、RTF、TXT、Microsoft Office Open XML 形式）
- Microsoft Office Visio 2003、2007（VSD）
- Microsoft Project 2003、2007（MPP）
- Microsoft Publisher 2003、2007（PUB）
- AutoCAD 2005、2006、2007（DWG）
- Corel WordPerfect 12（WPD）

- Adobe Photoshop® CS2（PSD）
- Adobe FrameMaker® 7.2、8（FM）
- Adobe PageMaker® 7.0（PMD、PM6、P65、PM）
- OpenOffice 2.4.2、3.0.1（ODT、ODS、OPD、ODG、ODF、SZW、SXI、SXC、SXD、SXM）
- Print ファイル（PS、PRN、EPS）
- Web ファイル（HTML）
- 画像ファイル（JPEG、GIF、BMP、TIFF、PNG）
- PDF

Open Document Format（ODF）のサポートでは、OpenOffice を使用することにより、PDF Generator ES2 のスケーラビリティを高めています。

注意 : 他のネイティブファイル形式のためのサポートを追加できます。PDF Generator ES2 がサポート対象のアプリケーションとやりとりする方法を指定することもできます。詳しくは、LiveCycle 管理コンソールからアクセスできる、LiveCycle ES2 管理ヘルプを参照してください。

PDF を他のファイル形式に変換

PDF Generator ES2 では、PDF を以下のファイル形式に変換できます。

- 画像形式（JPEG 2000、TIFF、PNG）
- PostScript および Encapsulated PostScript（EPS）

オープンスタンダードの出力ファイル形式

入力ファイルが PDF 以外の場合、以下の出力ファイル形式がサポートされます。

PDF/X-1a PDFX1a 2001 と呼ばれる Adobe PDF 設定を使用してドキュメントを変換すると、PDF Generator ES2 は、PDF/X-1a:2001 によってチェックされ、これに準拠する PDF ドキュメントを生成します。PDF/X-1a:2001 は、グラフィックコンテンツ交換における ISO 標準です。PDF ドキュメントは、Acrobat 4.0 以降または Acrobat Reader 4.0 以降で開くことができます。PDFX 1a は ISO 15930-1 で規定されています。

PDF/X-3 PDFX3 2002 と呼ばれる Adobe PDF 設定を使用してドキュメントを変換すると、PDF Generator ES2 は、PDF/X-3:2002 によってチェックされ、これに準拠する PDF ドキュメントを生成します。PDF/X-3:2002 は、グラフィックコンテンツ交換における ISO 標準です。PDF ドキュメントは、Acrobat または Adobe Reader 4.0 以降で開くことができます。PDFX3 は ISO 15930-1 で規定されています。

PDF/A-1B:2005 PDFA-1B と呼ばれる Adobe PDF 設定を使用してドキュメントを変換する場合、PDF Generator ES2 は、電子ドキュメントの長期保存のための ISO アーカイブ標準（PDF/A-1B）に準拠した PDF ドキュメントを生成します。PDF/A-1B は ISO 19005-1 で規定されています。

検索可能な PDF この機能は、TIFF などの画像ファイル形式を変換する際に特に便利です。この変換プロセスでは、光学式文字読み取り装置（OCR）を使用して、文字形状を照合して文字を特定します。生成された検索可能な PDF ファイルを Acrobat で開くと、そのドキュメントは変換元のドキュメントと同様に表示されます。一方で、テキストツールで文字列を選択し、文字列を検索することができるようになっています。

3. PDF Generator ES2 の利用手順

ここでは、監視フォルダから PDF ファイルを生成するための PDF Generator ES2 の設定および使用手順を 1 つずつ説明します。監視フォルダは、ドキュメントの変換、法的文書の追加、透かしの追加などのプロセスを呼び出すことができます。監視フォルダを作成して設定した後は、その監視フォルダはすべての人に対して動作します。

基本操作

このチュートリアルを開始する前に、『LiveCycle® ES2 の自動インストールおよびデプロイ（JBoss® 版）』ドキュメントを使用して、以下のタスクを完了してください。

1. LiveCycle ES2 をインストールします。PDF Generator ES2 ソリューションコンポーネントを選択します。追加のコンポーネントを選択する必要はありません。
2. Acrobat Pro Extended をインストールし、設定します。
3. Microsoft Office 2007 をインストールします。
4. Windows で Microsoft 管理者にサービスとしてログオンする権限を付与します。
5. インストールを検証します。詳しくは、「Validating a LiveCycle Install」を参照してください。

手順 1：Adobe PDF プリンタをデフォルトのプリンタとして設定

まず、Adobe PDF プリンタを、サーバーのデフォルトプリンタに設定します。Adobe PDF プリンタがデフォルトとして設定されていない場合、PDF Generator ES2 ではファイルを正常に変換できません。

デフォルトのプリンタを設定するには：

1. スタート／プリンタと FAX をクリックします。
2. プリンタと FAX ウィンドウで、「Adobe PDF」を右クリックして「通常使うプリンタに設定」を選択します。

手順 2：環境変数の設定

PDF Generator ES2 では、一部のファイル形式を変換する際に、対応するアプリケーションを開始するための実行可能ファイルの場所の情報が必要になります。環境変数によって、PDF Generator ES2 がアプリケーションの場所を把握できます。各環境変数には、変数名と、アプリケーションの実行可能ファイルへの絶対パスが含まれます。

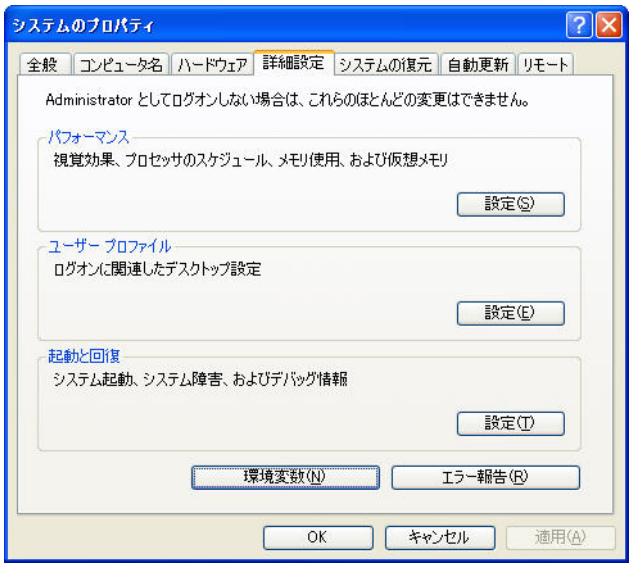
環境変数を設定するには：

1. スタート／すべてのプログラム／コントロールパネルを選択します。
2. コントロールパネルがカテゴリ表示の場合は、「クラシック表示に切り替える」をクリックします。

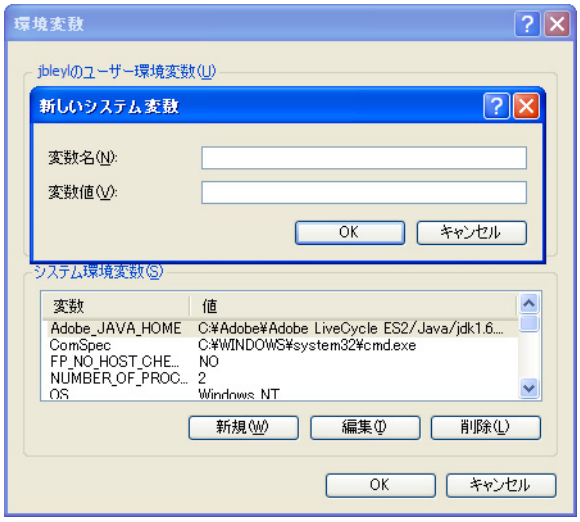
3 「システム」コントロールパネルをダブルクリックします。

4 システムのプロパティコントロールパネルで、「詳細設定」タブをクリックします。

5 「環境変数」ボタンをクリックします。



6 システム環境変数を作成するには、「新規」をクリックします。



7 コンピュータにインストールされた次のアプリケーションのそれぞれについて、システム環境変数を作成します。

アプリケーション	変数名	変数の値の例
Acrobat 9.0	`Acrobat_PATH`	`C:¥Program Files¥Adobe¥Acrobat 9.0¥Acrobat¥Acrobat.exe`
FrameMaker®	`FrameMaker_PATH`	`C:¥Program Files¥Adobe¥FrameMaker8¥FrameMaker.exe`
メモ帳	`Notepad_PATH`	`C:¥WINDOWS¥Notepad.exe`
OpenOffice.org	`OpenOffice_PATH`	`C:¥Program Files¥OpenOffice.org 3`
PageMaker®	`PageMaker_PATH`	`C:¥Program Files¥Adobe¥PageMaker 7.0¥PageMaker.exe`
WordPerfect	`WordPerfect_PATH`	`C:¥Program Files¥WordPerfect Office 12¥Programs¥wpwin12.exe`

注意 : `OpenOffice_PATH` 環境変数は、実行可能ファイルのパスではなくインストールフォルダに設定します。Word、PowerPoint、Excel、Visio、Project などの Microsoft Office アプリケーションまたは AutoCAD のパスを設定する必要はありません。これらのアプリケーションがサーバーにインストールされている場合は、Generate PDF サービスが自動的にこれらのアプリケーションを起動します。

注意 : 64 ビットコンピュータにインストールしている場合は、JAVA_HOME32 変数を作成し、32 ビット版 Sun JDK へのパスを設定してください。

8 「OK」をクリックし、もう一度「OK」をクリックします。

手順 3：監視フォルダの作成

監視フォルダと呼ばれるフォルダを定期的にスキャンして、変換されるファイルを検出するように LiveCycle ES2 を設定できます。LiveCycle ES2 によって、監視フォルダ内のいずれかの入力フォルダでファイルが検出されると、そのファイルは設定に従って変換されます。その後、LiveCycle ES2 は新しいドキュメントを結果フォルダに移動します。

クラスタ環境では、監視フォルダはファイルシステムまたはネットワークでアクセス可能および書き込み可能で、共有されている必要があります。この場合、クラスタの各アプリケーションサーバーはその共有フォルダにアクセスできる必要があります。

このチュートリアルでは、LiveCycle ES2 をホスティングするコンピュータに監視フォルダを作成するか、共有ドライブ上に監視フォルダを作成できます。次のいずれかのタスクを実行します。

LiveCycle ES2 をホスティングするコンピュータ上で監視フォルダを作成するには：

1. C ドライブのルートフォルダを開き、ファイル／新規作成／フォルダをクリックします。
2. このチュートリアルでは、「新しいフォルダ」フォルダの名前を「WatchedFolder」に変更します。

   これで、C:¥WatchedFolder フォルダが作成されました。

共有ドライブに監視フォルダを作成するには：

1. 監視フォルダを作成したい共有ドライブのボリュームを開きます。
2. フォルダウィンドウの何もない領域を右クリックし、「新規作成」をクリックします。「フォルダ」をクリックします。
3. このチュートリアルでは、「新しいフォルダ」フォルダの名前を「WatchedFolder」に変更します。
4. フォルダにドライブ文字を割り当てるには、次の手順を実行します。
   - 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
   - ツール／ネットワークドライブの割り当てをクリックします。
   - 「ドライブ」リストからドライブ文字を選択します。
   - 「フォルダ」ボックスに監視フォルダのパスを入力します。例えば、¥¥yourservername¥watchedfoldername と入力します。「参照」をクリックして、監視フォルダを選択することもできます。
   - ログオンするたびにマップされたドライブに再接続するには、「ログオン時に再接続する」を選択します。
   - 異なるユーザーで共有フォルダにログオンするには、「異なるユーザー名で接続します」をクリックします。

   注意 : 次の構文を使用して、ネットワーク共有フォルダにアクセスすることをお勧めします。
   ¥¥MachineName¥FolderName1[¥FolderName2...]
5. LiveCycle ES2 が共有フォルダにアクセスできるようにするには、次の手順を実行します。
   - スタート／コントロールパネルをクリックします。
   - 「管理ツール」をダブルクリックして、さらに「サービス」をダブルクリックします。
   - 「JBoss for Adobe LiveCycle ES」を選択し、操作／プロパティをクリックします。
   - 「ログオン」タブで、次のいずれかを実行します。
     - 「アカウント」を選択し、ユーザーのアカウントとパスワードを入力します。このユーザーには、この共有の監視フォルダに対する読み取りおよび書き込みの権限が必要です。
     - 「ローカルシステムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」を選択します。このオプションを選択すると、ユーザーがファイルを変換するには、共有の監視フォルダに対する読み取りおよび書き込みの権限が必要になります。
6. 「OK」をクリックします。

手順 4：Generate PDF サービスの設定

Generate PDF の設定

1 ブラウザで LiveCycle 管理コンソールを開きます。アドレスは、http://[servername]:8080/adminui です。

2 ログイン後、次のいずれかを実行します。

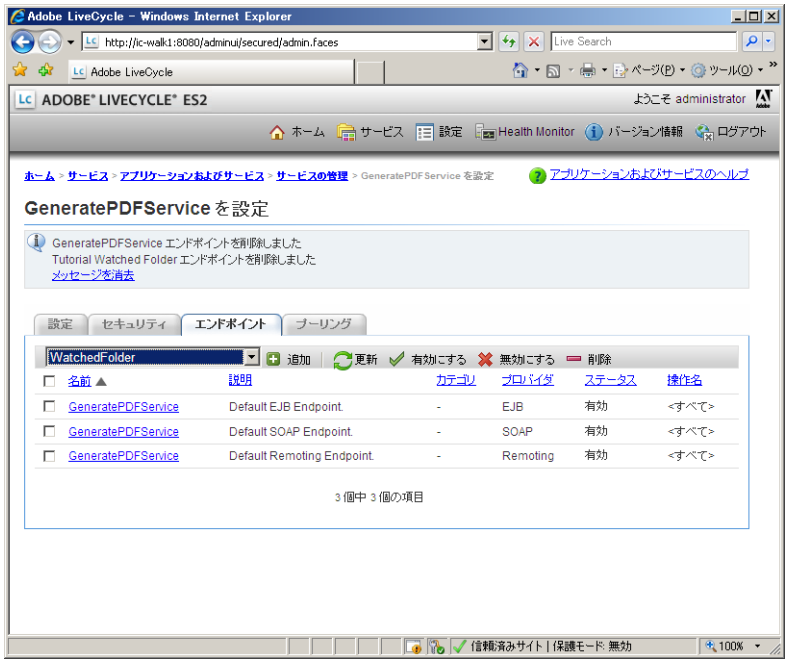
- サービス／アプリケーションおよびサービス／サービスの管理をクリックします。
- サービス／ LiveCycle PDF Generator ES2 ／ソースをクリックします。

3 カテゴリリストから「PDF Generator」を選択し、「フィルタ」をクリックします。

4 「GeneratePDFService: 1.1」をクリックします。

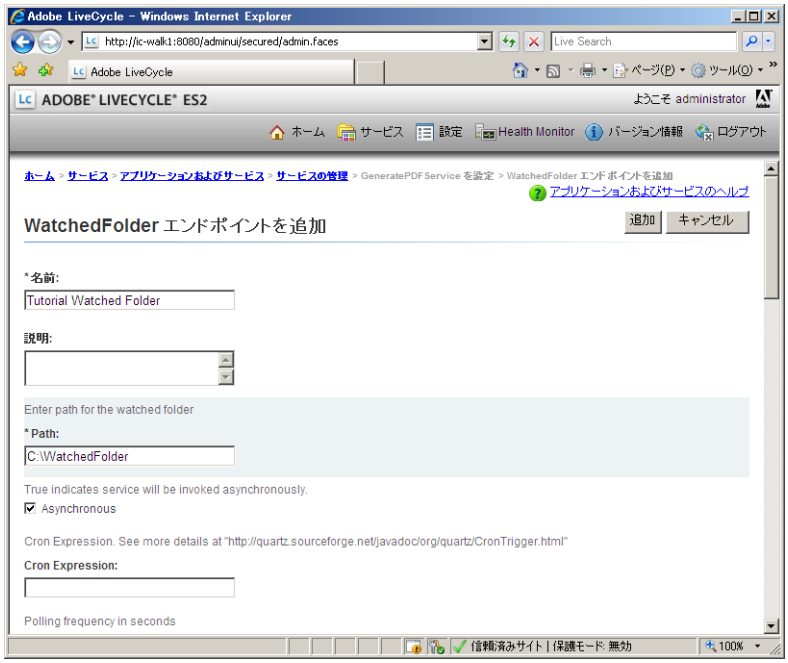
PDF Generator ES2 カテゴリの各サービスでは、特定のファイル形式を PDF に変換します。

5 「エンドポイント」タブをクリックして、リストから「WatchedFolder」を選択し、「追加」をクリックします。



6 WatchedFolder エンドポイントを追加ページで次の値を設定します（このチュートリアルでは、オプションのパラメータに対しては値を設定しません）。

パラメータ	説明	値
名前	監視フォルダを識別します。	Tutorial Watched Folder
パス	監視フォルダの絶対パスです。フォルダが存在しない場合は、LiveCycle ES2 によって作成されます。	LiveCycle ES2 をホスティングするコンピュータ上で監視フォルダを作成した場合は、次の値を入力します。 **C:¥WatchedFolder** 共有ドライブ上で監視フォルダを作成した場合は、フォルダへのパスを入力します。例えば次のようになります。 **¥¥sharedserver¥WatchedFolder**
操作名	監視フォルダに割り当てることができる操作のリストです。	**ExportPDF** は、PDF ファイルを、Microsoft Word、プレーンテキスト、HTML、XML などのサポートされる形式に変換します。 **CreatePDF** は、様々なサポートされる形式の入力ファイルを PDF に変換します。 **HTMLFileToPDF** は HTML ファイルを PDF に変換します。
入力パラメータのマッピング／inputDocument	監視フォルダ内のどのドキュメントを PDF に変換するかを指定します。	ポップアップメニューで、「Variable」に設定したままにします。 このボックスに、次の値を入力します。***.*** この値を設定すると、監視フォルダにコピーされたすべてのドキュメントが PDF に変換されます。
出力パラメータのマッピング／結果	Word、Excel、PowerPoint、AutoCAD などの出力ファイル名や、JPEG、TIFF、PNG、GIF などのイメージには、英字、数字およびファイル拡張子の前のピリオド（.）以外の文字を含めることはできません。それ以外の文字は、LiveCycle ES2 によって 16 進数値に変換されます。	ポップアップメニューで、「Variable」に設定したままにします。 このボックスに、次の値を入力します。 **%F.pdf** この値を入力すると、入力ファイルと同じ名前で .pdf ファイル拡張子が付いたファイルが作成されます。



7 「追加」をクリックします。

手順 5：監視フォルダへのファイルのコピー

監視フォルダにファイルをコピーする方法

1 次のいずれかを実行します。

- ローカルフォルダを作成した場合は、C:¥WatchedFolder¥input にファイルをコピーします。
- 共有フォルダを作成した場合は、¥¥sharedserver¥WatchedFolder¥input にファイルをコピーします。

手順 6：PDF ドキュメントの表示

PDF ドキュメントの表示方法

❖ デフォルトでは、PDF Generator ES2 は、ファイルを入力フォルダから、失敗フォルダか結果フォルダのサブフォルダに移動します。サブフォルダは、その日の日付に従って名前が付けられます。例えば、2009 年 1 月 25 日にファイルを正常に変換した場合、PDF は C:¥WatchedFolder¥results¥2009¥1¥25 フォルダに作成されます。PDF の作成に失敗した場合は、入力ファイルが C:¥WatchedFolder¥failure¥2009¥1¥25 に移動されます。

4. PDF Generator ES2 のトラブルシューティング

ここでは、PDF Genertator ES2 でよく発生するエラーの一部とそのエラーへの対処方法を紹介します。

ログファイルの読み取り

ログファイルには、ファイルの変換失敗の理由が記録されています。このログには、例えば、入力ファイルがパスワードで保護されている、ファイル自体が壊れている、PostScript インタプリタによる入力ファイルの解析中にエラーが発生したなどの情報が示されます。

MS Word や他のネイティブなアプリケーションファイルを変換できない場合

MS Word や他のネイティブなアプリケーションファイルを PDF に変換できない場合は、LiveCycle ES2、Acrobat および MS Office を同じ管理者アカウントを使用してインストールしたかどうかを確認してください。検証するには、監視フォルダを作成して、PostScript（.ps）ファイルを入力フォルダにコピーします。ファイルが PDF に変換されれば、LiveCycle ES2 と Acrobat は正常に動作しています。

監視フォルダに対する削除のアクセス権の付与

アプリケーションサーバーには監視フォルダ内のファイルを削除する権限を付与してください。入力フォルダのファイルがスキャンされた後に、LiveCycle ES2 がそのファイルを削除できない場合、関連付けられたプロセスが無限に実行されることになります。このような場合に、アプリケーションサーバーに削除のアクセス権を付与するには、ファイルシステムの権限を変更するためのオペレーティングシステムの専用ツールを使用します。例えば、UNIX では `chmod` ユーティリティを、Windows では **attribe** コマンドを使用して、このタスクを実行します。

ディスクの空き容量に関するエラーの回避

監視フォルダを使用した PDF の変換に十分なディスクの空き容量がないことを示す `java.io.IOException` エラーメッセージが発生しないよう、LiveCycle 管理コンソールで PDF Generator ES2 の設定を変更できます。

PDF Generator ES2 のパフォーマンスパラメータを設定するには：

1. LiveCycle 管理コンソールにログインし、サービス／アプリケーションおよびサービス／サービスの管理をクリックします。
2. サービスのリストから「PDFGConfigService」をクリックします。
3. 「PDFGConfigService を設定」ページで、次の値を設定します。
   - PDFG Cleanup Scan Seconds：30 min
   - Job Expiration Seconds：100 min

トラブルシューティングの関連情報

トラブルシューティングの関連情報については、『LiveCycle ES2 のトラブルシューティング』を参照してください。